

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 29. 12. 1 第 195 回国会第 2 号

12 月 1 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 佐藤外務副大臣及び堀井学外務大臣政務官からそれぞれ挨拶が行われました。

2 国の安全保障に関する件

- ・北朝鮮による弾道ミサイル発射について、小野寺防衛大臣から報告を聴取しました。
- ・河野外務大臣、小野寺防衛大臣、福田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

高村正大君（自民）

- ・北朝鮮情勢が緊迫する中、万が一の事態の備え、在韓邦人の退避を想定した態勢整備に万全を期すべきと考えるが、政府の取組状況について河野外務大臣に伺いたい。
- ・平和安全法制の整備により、どのような運用が可能となり、それによってどのような安全保障上のメリットが生じているのか、政府に伺いたい。
- ・災害現場等の過酷な環境で任務を遂行する自衛隊員に対し、処遇改善を図るべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

和田義明君（自民）

- ・現在、政府は南西、北朝鮮、北方の三正面を睨み我が国と国民の守りを固めているが、北方正面の防衛体制の重要性について、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・今後はサイバーと電子戦が有事の際の最前線になると考えるが、サイバーと電子戦に関する日米防衛当局間の協力の現状及び米国以外の国の防衛当局との間における協力の状況について、政府に伺いたい。
- ・防衛省は新たな対艦ミサイルの開発にあたり、対地ミサイル機能を付加することで、日本版トマホークの保有を計画しているとの報道があるが、事実関係を確認したい。

浜地雅一君（公明）

- ・日米韓で連携して弾道ミサイルの迎撃に資するような共同訓練を行っているという姿勢を見せるべきであると考えますが、これまで、日米韓で弾道ミサイルの迎撃に資するような共同訓練を行ったことはあるか。
- ・北朝鮮に抑止を効かせるため、小野寺防衛大臣には韓国に働きかけ、日米韓による大規模な訓練の実現に向けた努力をしていただきたいと思います。小野寺防衛大臣の決意を伺いたい。

- ・南シナ海問題について、中国と東南アジア諸国連合（ASEAN）が「行動規範（COC）」を決める交渉を開始した中、河野外務大臣にはCOCが国際法に則ったものになるよう、ASEAN諸国に強く働きかけをしていただきたいと思います。河野外務大臣の見解を伺いたい。

宮川伸君（立憲）

- ・トランプ米大統領は北朝鮮政策に関し「全ての選択肢がテーブルにある」との発言を繰り返しているが、その選択肢の中に軍事的オプションや先制攻撃が含まれていると考えているか、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮に対する武力行使を認める国連安保理決議がない状況で、米国が北朝鮮に対し攻撃をした場合、我が国は米国を支持するのか、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮の行動を変えるため今は「圧力」を高めているが、今後北朝鮮がどのような行動をとれば「圧力」から「対話」に変えようと考えているか、河野外務大臣の見解を伺いたい。

本多平直君（立憲）

- ・北朝鮮に対して「全ての選択肢がテーブルの上にある」とする米国の立場を全面的に支持する我が国の姿勢は、外交交渉上問題があると考えますが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・米国が北朝鮮への軍事攻撃に踏み切る場合、日米間で事前協議をすることを米国に求めるべきであると考えますが、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・南スーダン派遣施設隊の日報問題に関する特別防衛監察の結果を受けて、陸上自衛隊が最も重い処分を受けることになったとも言えるが、小野寺防衛大臣は特別防衛監察の結果についてどのように認識し、自衛官の士気をどのように維持していくつもりか伺いたい。

渡辺周君（希望）

- ・北朝鮮の弾道ミサイルに関し、米国全土に到達する可能性及び小型の核弾頭の開発状況についての小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮のミサイル技術が高まる中、我が国の弾道ミサイル防衛体制を迅速に強化すべきと考えるが、SM-3ブロックII A及びイージス・アショアが配備される時期の目途について、政府の見解を伺いたい。
- ・有償軍事援助（FMS）に関する会計検査院の調査結果を今後の教訓とし、米国に対して何らかの働きかけを行うべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

広田一君（無会）

- ・我が国を取り巻く安全保障環境について、小野寺防衛大臣が本委員会の所信表明で「戦後最も厳しい」と述べたが、そのように表現した理由を含め、同大臣の現状認識を伺いたい。
- ・現行の防衛大綱に「大規模武力紛争の蓋然性は低い」と明記されているにもかかわらず、「戦後最も厳しい」との表現を用いるのは矛盾していると考え、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮の弾道ミサイル発射に関し、「新たな段階の脅威」に対する認識及びこれに対処するための防衛体制の充実強化についての政府の見解を伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・本年10月11日の沖縄県での米軍ヘリCH-53E炎上事故は、沖縄本島の「水瓶」である福地ダムの流域の境目から400メートルの場所で起こり、本事故のような事故が水源地で起こった場合、上水道の供給に重大な影響が出ると考えるが、防衛省の認識を伺いたい。
- ・本事故は、沖縄県・北部訓練場のヘリコプター着陸帯の建設に伴う米軍機の飛行増加が背景にあり、政府は、同着陸帯の全面的な使用禁止を求める沖縄県民の声に応えるべきと考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

- ・事故機体の検証を行うための米国の同意を得るよう、外務省は米国に対し、積極的に働きかけを行う必要があると考えるが、河野外務大臣の認識を伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・サンフランシスコ市が慰安婦像の寄贈を受け入れたが、外務省はこの問題にどのように働きかけ、その働きかけはなぜ失敗したのか、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・これまで多額の戦略的対外発信に関する予算を計上してきたにもかかわらず成果を挙げていないことへの評価及び我が国の「正しい姿」を今後どのように世界に発信していくかについて、河野外務大臣に伺いたい。
- ・安倍内閣は河野談話（平成5年8月4日、河野内閣官房長官談話）の見直しはしないとしているが、政府がこれを追認していることにより世界に誤ったメッセージを与えていることから、河野談話等を見直すべきと考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・「嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会」は、11月28日、外務省及び防衛省に対し、F-35Aの同基地への配備及びパラシュート降下訓練に対する抗議並びに同基地の使用協定の締結を求めたが、これらの抗議及び要請に対する河野外務大臣及び小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・9月10日に放送されたNHKスペシャル「スクープドキュメント 沖縄と核」において、本土復帰前の沖縄に多くの米軍の核兵器が貯蔵されていたことなどが報じられたが、沖縄の本土復帰に際し、それらの核兵器が全て撤去されたと河野外務大臣は考えているのか、また、そう考えているとすればその根拠は何か伺いたい。
- ・11月19日に飲酒運転死亡事故を起こした米海兵隊員の基地外の飲酒などが、在日米軍の勤務外行動の指針であるリバティ制度に違反している可能性について、防衛省の見解を伺いたい。

3 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第9号）

- ・小野寺防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。